

令和8年度実施 横浜市公立学校教員採用候補者選考試験

夏実施 受験申込期間 | 令和8年4月8日(水)～5月11日(月) 午後5時まで

第一次試験日 | 令和8年7月5日(日) 第一次試験は「大阪会場」も設置します!
試験の詳細は別冊の受験案内もご覧ください

試験に関する説明会(事前申込制) |

全国5会場 & オンライン会場 開催日時と会場の詳細は
ホームページをご覧ください



教育委員会公式note
「ヨコエデュ!」



横浜ならではの教育の取組、
学校の魅力、子どもたちのチャレンジ、
先生の想いなど、
たくさんのストーリーをお届けします。

横浜市教育委員会公式 **note**



臨時的任用職員・
非常勤講師等も募集中です



横浜の教育の今と未来が
わかるデジタルガイドブック
「EDU-BAY-TION」



EDUCATION(教育)を
BAY(横浜)から
INNOVATION(革新)へ。
デジタルブック内の
動画や画像から、
生き生きとした教育現場の
様子をご覧いただけます。
ぜひご覧ください!



お問合せ

横浜市教育委員会事務局 教職員人事課任用係

所在地: 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
TEL: 045-671-3246 FAX: 045-681-1413 MAIL: ky-kyosyokujinji@city.yokohama.lg.jp

令和
8
年度実施

YOKOHAMA

TEACHER RECRUITMENT PAMPHLET FOR PUBLIC SCHOOLS

横浜市
教育委員会
Fiscal Year 2026

横浜市 公立学校教員募集



先生開化

YOKOHAMA

ヨコハマは、開港以来、多様な文化や人を受け入れ、個性に変えてきた歴史があります。

たくさんの仲間がヨコハマに集まり、励まし合い、ともに成長をよろこび、自らも日々学び続けています。
ヨコハマなら、変化をいとわず、安心して挑戦できる。

先生開化

「あなたらしく、自分らしく、思い描いている先生という人生をここ、ヨコハマで、ひらいてほしい。」

開化という言葉に、私たちの想いを込めました。

私たちは、いつだって、子どもたちをまんやかに明日をひらくために歩み続けます。

公式サイト



横浜の求める教師像

教育への使命感や情熱をもち、
学び続ける教師

「チーム学校」の一員として、
ともに教育を創造する教師

子どもによりそい、
豊かな成長を支える教師

INTERVIEW 先輩教員インタビュー

INTERVIEW 01

並木中央小学校
佐藤先生

子どもたちと一緒に悩み、楽しみ、
喜び、一緒に成長する先生



TEACHER'S DAY

07:30 出勤時刻

子どもたちを迎えるときの心がけ
「おはよう。」と元気に出迎える。
宿題を回収しながら、子ども達
一人ひとりと一言話す。

08:30 授業開始時刻

子どもたちと向き合うときの心がけ
教えたことが身にいらなくても、
「できなくても大丈夫！」という
気持ちで自分も子どもも追い込まない。

12:25 給食開始時刻

給食指導時の心がけ
アレルギー対応の子どもには、
配膳に間違いがないか確認する。

14:15 最終下校時刻

放課後の仕事を
効率的に行うための心がけ
パソコンの付箋機能を使い、終
わった仕事は消していく。

18:00 退勤時刻

退勤後の過ごし方を教えてください
大好きなアニメを見たり、食べる
ことが大好きなので行きたいお
店を検索したり、自分の好きなこ
とを考える時間にしています。

先生として
一番大切にしていること

子ども第一で考えることで
す。教材研究をしたり、活
動を考えたりするときは、
子ども達は、「これで興味を
もって取り組むかな」とか、
「楽しい」「おもしろい」
「もっと知りたい・やりたい」
と思うかなと考えるよ
うにしています。

横浜で働いていて
良かったと思うこと

教師が学び続ける、成長で
きる環境が整っていること。
学習材がたくさんあること。
一緒に働く先生方が魅力
的。若手のサポートや研修
の充実、学校のチーム力が
高いので、先生方がいきい
きして見えます。

INTERVIEW 02

日野南中学校
林田先生

簡単に“答え”を
教えない先生



TEACHER'S DAY

08:00 出勤時刻

子どもたちを迎えるときの心がけ
大きな声であいさつをする。表情
や様子を確認し、普段と変わりが
ないか気を付ける。欠席明けの生
徒には、体調確認などを必ず行う。

08:55 授業開始時刻

子どもたちと向き合うときの心がけ
生徒自身が自分で考える時間を
必ずとり、生徒どうして話し合っ
て理解を深めることで達成感を
得られるよう工夫している。

12:55 給食開始時刻

給食指導時の心がけ
昼食を持ってきているか、食べて
いるか確認する。

17:00~18:00 最終下校時刻

放課後の仕事を
効率的に行うための心がけ
優先順位を決めて仕事を行う。
他の職員との打ち合わせや共同
作業が必要なものは優先的に行う。

19:00 退勤時刻

退勤後の過ごし方を教えてください
ゆっくりお風呂に浸かって、おい
しいご飯を食べる。

先生として
一番大切にしていること

生徒に自分で「考えさせる」
ことです。教師という職業
は「教える」ことを基本とし
ますが、知識や正解をただ
伝えるだけでは、生徒が理
解したり納得したりしない
ことがあります。その子に
必要な声掛けやアプローチ
の仕方を日々探しています。

横浜で働いていて
良かったと思うこと

ICT環境は整っている方だ
と思います。クロームブッ
クが1人1台配付され、授業
における動画の視聴やスラ
イドの提示が簡単にできる
ようになりました。横浜は
かなり進んでいると実感し
ています。

INTERVIEW 03

ろう特別支援学校
佐藤先生

信頼される努力を
している先生



TEACHER'S DAY

08:15 出勤時刻

子どもたちを迎えるときの心がけ
必ず挨拶をする。前日からの変
化を観察する。

09:00 授業開始時刻

子どもたちと向き合うときの心がけ
手話は大きく、ゆっくり出す。子
どもに合わせた教材をつくる。

12:35 給食開始時刻

給食指導時の心がけ
献立名や食材名の確認(ことば
の指導)

15:40 最終下校時刻

放課後の仕事を
効率的に行うための心がけ
仕事の優先順位を考え、事前に
締切をリスト化しておく。無理を
せず、急ぎでない仕事は次の日
以降に回す。

18:00 退勤時刻

退勤後の過ごし方を教えてください
ろう学校の研究会に参加したり、
検定試験取得に向けた学習を
したりしています。検定試験は、
横浜市からの教員向け助成を活
用しています。

先生として
一番大切にしていること

子どもや保護者と信頼関係
を築くことを最も大切にし
ています。信頼関係を築く
ために、子どもに対しては
傾聴・共感・賞賛を心がけ、
保護者に対しては子どもの
成長や日常の出来事をこま
めに報告・連絡・相談する
ようにしています。

横浜で働いていて
良かったと思うこと

職場環境がよく、とても働
きやすいです。何か問題が
起きた際にも教員同士で
助け合える環境が整ってい
ます。初任で配属されたと
きから本当に色々な先生方
に相談にのっていただき、
とても心強かったです。

より詳しいインタビューは
こちらから。



INTERVIEW 04

間門小学校
萩原先生(養護教諭)

子どもたちの不安や悩みに
全力で向き合う先生



TEACHER'S DAY

07:30 出勤時刻

子どもたちを迎えるときの心がけ
子どもたちを昇降口で一番に迎
える。

08:10 勤務開始時刻

子どもたちと向き合うときの心がけ
保健室だけでなく、積極的に教
室に入り児童を多角的に見る。

12:15 給食開始時刻

給食指導時の心がけ
様々な理由で給食を保健室で
食べる子にとって、リラックスし
た時間になるように。

15:25 最終下校時刻

放課後の仕事を
効率的に行うための心がけ
提出物や期限があるものをまず
確認。誰かに協力してもらいた
いときは職員室で、一人でじっく
り考えたいときには保健室で仕
事をして、メリハリをつける。

19:00 退勤時刻

退勤後の過ごし方を教えてください
あたたかいお風呂に入ってふか
ふかのベッドで寝るとリフレッ
シュできます。

先生として
一番大切にしていること

子どもの声にしっかりと耳を
傾けることです。子どもが自分
の気持ちを怖がらずに安心して
話せる環境をつくることが
大切だと思っています。保健
室はもちろん、朝や放課後、休
み時間に子どもたちとコミュニ
ケーションをとり、信頼関係を
築いていけるようにしています。

横浜で働いていて
良かったと思うこと

「まち」があたたかいと思
います。地域の方があたたかく
協力的です。また、都会の先
端的な雰囲気もありつつ、田
畑などの自然あふれる場所
もあり、まちに子どもたちの
学びの財があふれていると
ころも魅力だなと思います。

TEAM BUILDING

横浜はチーム力が自慢です

ひとりにしない。
子どもたちも、先生も

TEAM BUILDING 1

児童生徒支援

動画で見る
「チーム力」



チーム学校

横浜の学校では、担任、学年主任、児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭、養護教諭、特別支援教育コーディネーターなど、様々な役割を担った教職員が互いに連携し、チームとして子どもたちの成長に寄り添っています。

児童支援専任教諭・

生徒指導専任教諭

学級担任をせず、児童生徒の支援や指導を専任する教諭。児童生徒の抱える諸課題への未然防止、早期発見、早期解決のため、校内の中心的な役割を担い、支援体制を整えて担任をサポートしています。

全校に、児童支援専任教諭(小学校)・生徒指導専任教諭(中学校)が配置されていることは、横浜の大きな強みです。

先輩教員インタビュー

INTERVIEW 01



日野南
中学校
林田先生

チーム学校について

学年、学校全体でフォローする雰囲気があることは様々な場面で感じています。生徒指導や進路についても、担任だけでなく必ず学年で動くようにしています。

TEAM BUILDING 2

教科分担の推進 ~チームで子どもたちを育む~

もっと知りたい!
チーム担任制

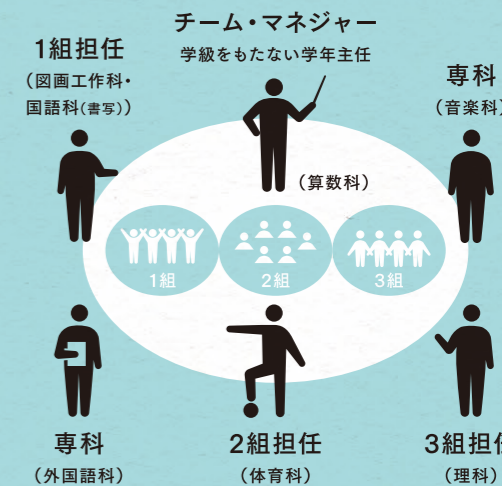


チーム学年経営

小学校高学年(第4~第6学年)における一部教科分担制「チーム学年経営」で、学年の教員が一部の教科を分担して指導することによって、学級を超えたすべての子どもとの日常的な関わりを生み出し、チームとして子どもたちを育んでいます。さらに、担当教科が絞られることで教材研究が効率化され、ゆとりを生み、授業の質の向上にもつながります。子どもたちも、小学校で一部教科分担制を経験することで、中学校生活をスムーズにスタートすることができます。令和7年度から全小学校で展開しています。



チーム学年経営イメージ図



チーム学年経営×チーム担任制

チーム学年経営を基盤としながら、授業以外の学級担任業務も分担する「チーム担任制」について、令和8年度から全小学校で展開します。

TEAM BUILDING 3

教員同士で学び合い、育ち合う風土

メンターチームを
noteで読む



メンターチーム

横浜の学校では、校内で経験年数1~5年目ぐらいの同僚教員が集まり、「メンターチーム」をつくっています。教員同士が学び合い、互いに悩みを相談したり、課題の解決に向けて話し合ったりして、共に成長しています。メンターチームの活動

内容は多岐にわたり、授業づくりのことはもちろん、係活動の進め方、成績のつけ方、保護者や地域との関係づくりなど、教員の知りたい、聞きたい、学びたいの声から毎回のテーマが決まり、教員同士で気軽に相談したり助言しあったりしています。

INTERVIEW 02

先輩教員 インタビュー



並木中央小学校
佐藤先生

メンターチームについて

メンターチームでは、授業の基礎、個人面談の進め方等を教えてもらいました。同じ悩みをもった同世代の先生方と話す時間は、気合いを入れるにも、息抜きとしてもとても大切な時間だったと思います。児童支援専任の先生にもたくさんお世話になってきました。経験がない分、他の先生方から子どもへの指導や保護者対応の仕方を学び、実践してきました。



WORK-LIFE BALANCE

より良い方へ 変わる、変えていける。

先生の“HAPPY”が
子どもの笑顔をつくる

WORK-LIFE BALANCE 1

DX

家庭と学校の連絡システム「すぐーる」

「すぐーる」は、家庭と学校の連絡をスマートフォン等で行うことができるシステムで、令和6年4月から全校に導入しました。朝の欠席・遅刻連絡やお便り等の電子化により、印刷時間の削減、配布や回収の手間の解消につながっています。

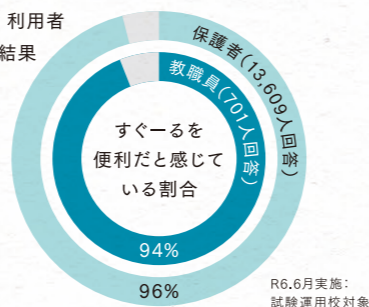
学習ダッシュボード「横浜St☆dy Navi」

「横浜St☆dy Navi」(よこはまスタディナビ)は、令和6年6月から始動した学習ダッシュボードで、児童生徒の健康観察や授業アンケート、横浜市学力・学習状況調査など、様々な情報を一元的に確認することができます。教員の経験に加えて客観的なデータを活用することで、アセスメントをしっかり行い、一人ひとりに応じた個別最適な指導の実現の充実につなげます。

動画で見る
横浜のDX



「すぐーる」利用者
アンケート結果



1人1台配付されたクロームブックで行われる授業風景



INTERVIEW 03

間門小学校
萩原先生

先輩教員 インタビュー

働き方改革について

定時退庁の取組である「みんなでカエルDay」を週1日設けたり、働き方を検討するウェルビーイング委員会を発足しました。「ミライム」*を活用した会議の効率化などに取り組んでいます。

*学校現場のコミュニケーションと業務効率化をサポートするクラウド型グループウェア



WORK-LIFE BALANCE 2

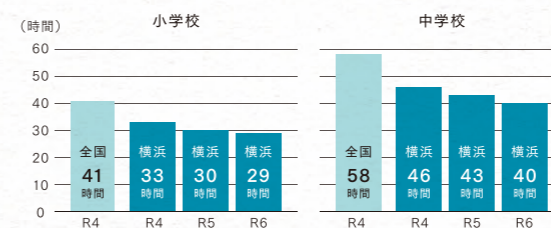
ワーク・ライフ・バランス



気になる
ワーク・ライフ・バランス

時間外勤務(月間)

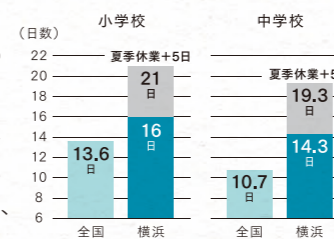
グラフは、月の時間外勤務の平均を表しています。文部科学省が実施した最新の勤務実態調査(令和4年度)では、横浜市の月の時間外勤務の平均は全国平均と比較して大幅に下回っており、令和4年度以降も着実に改善しています。



全国:文部科学省「教員勤務実態調査」(令和4年度)
横浜市:ICカードによる出退勤管理(令和4~6年度)

休暇

グラフは、年次休暇の取得日数を表しています。毎年度20日付与される年次休暇のうち、小学校では16日、中学校では14.3日取得しており、夏季休暇の5日を含めた場合、小学校21日、中学校19.3日の休暇を取得しています。



全国:文部科学省「教員勤務実態調査」(令和4年度)
横浜市:教職員庶務システム(令和6年度)

学校閉庁期間

横浜市では、教員の休暇取得を促進するため、会議も研修も電話対応もない「学校閉庁期間」を他都市よりも多く設定しています。

- ・ 6月2日(横浜開港記念日)
- ・ 8月3日~8月16日
- ・ 12月27日~1月5日(年末年始を含む)

【参考】春季休業期間の延長(4月7日始業日)

WORK-LIFE BALANCE 3

部活動改革

部活動指導員の積極的な登用

部活動指導員は、部活動の活性化及び教員の負担軽減を図ることを目的に、教員に代わって専門的な指導や大会等の引率を行う外部人材です。希望する全ての部活動に部活動指導員(令和6年度は延べ約1,000人)を配置しています。育児や介護等の事情で指導が困難な教員、また、自らの競技等の経験が浅いなどの理由から不安がある教員については、部活動指導員が指導を担うことで教員の負担軽減を図ります。

横浜版部活動ガイドライン

生徒にも教員にも持続可能な部活動を実現するため、1日の活動時間を「平日2時間程度、休日3時間程度」、休養日を「平日1日以上、土日1日以上」とするガイドラインを定めています。ガイドラインを遵守した活動となるよう、大学・企業・団体等による部活動支援、合同部活動の推進、休日部活動の地域展開に関する実践研究など、様々な取り組みを進めています。



EDUCATION FOR THE FUTURE

自分らしく「なりたい わたし」になる

横浜は、未来の教育に
挑戦しています

EDUCATION FOR THE FUTURE 1

充実した初任者育成

採用前から始まるサポート体制

採用前に、同期の採用予定者と先輩教員を交えた懇談会を実施しています。同じ出身地、校種・教科等でグループになり、不安や悩みを共有したり、先輩教員に相談したりすることができます(令和7年度は約250人参加)。1月の懇談会を皮切りに、4月の配属に向けては、オンライン研修や集合研修、配属校研修など、充実のプログラムが用意されています。

初任2・3年目研修

初任1年目だけでなく、2年目・3年目もサポートが続くのが横浜型の初任者育成です。校内授業研究会や、必修の集合研修のほか、それぞれ見えてきた自身の課題を解決するための研修を、自ら計画を立てて受講しています。



大学3年生チャレンジ推薦特別選考の合格者向け懇談会

現職教員と語る
採用前懇談会



EDUCATION FOR THE FUTURE 3

「学びたい!」をいつでも、
いつまでもサポート

ハマ・アップ(授業改善支援センター)

授業力・教師力を向上させるための施設で、市内4か所(方面別学校教育事務所内)に設置。経験豊かな授業改善支援員(元校長・副校長)が常駐し、授業や学級づくりなどのさまざまな相談に応じています。先輩教員が作成した学習指導案や教育関連図書が豊富にあり、自由に閲覧することができます。

授業づくり講座

授業づくりのポイントや学級経営などをテーマにした講座を開講しており、関心のある回に参加することができます。

授業づくり講座を
noteで読む



教員の心強い味方
「ハマ・アップ」



先輩教員インタビュー

INTERVIEW 05



ろう特別
支援学校
佐藤先生

成長を実感した 機会について

特別支援教育に関する研修や研究会を通して、所属校に関する専門分野だけでなく他の障害に関する知識や授業実践を知ることができ、多角的な視点から授業づくりや生徒指導などをできるようになりました。

EDUCATION FOR THE FUTURE 2

横浜教育

データサイエンス・ラボ

若手から中堅の教職員、専門的な知見をもつ大学研究者、データの分析・加工の専門的な技術をもつ企業で形成される研究の場でもできました。教員の課題感や求める効果を出発点とし、大学や企業の知見やノウハウを組み込んで研究をしています。児童生徒25万人の教育データを分析し、教職員や子どもたちに有効な「教育データ」を提供していきます。

横浜の
教育データ活用のかたち



INTERVIEW 04

先輩教員インタビュー



日野南中学校 林田先生

研修制度について

教育課程の研究委員として、2年間授業について学ぶ機会がありました。今までぼんやりと「生徒がこんな風に考えることができたら面白いかな」としか考えられていませんでしたが、先輩の先生方のアドバイスによって、より明確な視点をもって授業づくりができるようになりました。

EDUCATION FOR THE FUTURE 4

横浜教育イノベーション・アカデミア

横浜の教育の更なる充実と教職の魅力向上を目指し、教職員、大学、企業、学生等との共創により、自由な発想を柔軟に取り入れ、次世代の学びをデザインするプラットフォームです。横浜市立学校の教職員と交流できる場にも参加できます。令和7年度に会員制のバーチャルなキャンパス空間である横浜教育イノベーション・アカデミアポータルサイトを開設しました。



アカデミアを
noteで読む



- 教員採用試験や教職員のリアルに関する記事の配信
- 各種イベント情報の申込
- オンラインイベントのライブ配信・録画アーカイブなど、多彩なコンテンツを提供!



登録は
こちら



ONGOING SUPPORT

働き続けられる充実のサポートがあります

住みやすく、
働きやすいまち

ONGOING SUPPORT 1

給与と昇給モデル

初任給モデル

給与月額	小学校・中学校・高等学校*	約327,000円 (年収 約5,103,000円)
	特別支援学校	約341,000円 (年収 約5,318,000円)

大学新卒・22歳のケース、教職調整額等含む ※学級担任の場合は加算あり

主な手当

通勤手当	55,000円/月(限度額)
住居手当*	30歳未満 28,000円/月
	40歳未満 19,600円/月
期末・勤勉手当	4.65月分/年(令和7年度実績)

※自ら居住するために借り受けた住居の家賃を支払っている職員に支給



ONGOING SUPPORT 2

仕事と子育ての 両立支援制度の充実

働きながら

子育てをしていくための 制度がますます充実

- 横浜市立学校フレックスタイム制度や育児短時間勤務
- 妊娠・出産・育児のための休暇制度が充実
- 育児休業は最長3年まで取得可能

昇給モデル

10年後(32歳)	約419,000円 (年収約7,058,000円)
20年後(42歳)	約485,000円 (年収約8,176,000円)

現在の給与制度をもとに、大卒・前歴なし、教諭の場合で標準的な昇給をした場合

- 表記はいずれも令和8年3月現在の条例等によります。条例改正等が行われた場合は、その定めによります。



転職の場合の給与モデルや休暇制度など、もっと知りたい方はホームページをご覧ください。
「教員の給与と休暇」

ONGOING SUPPORT 3

福利厚生

互助会について知る



教職員向け福利厚生団体

「横浜市立学校教職員互助会」

加入は任意ですが、ほとんどの教職員が加入しています。提携施設で使用できる補助券の配付や各種割引、演劇鑑賞や日帰り旅行等のレクリエーションといった充実したサービスを提供しています。また、勤続年数やライフステージ等に応じた給付、各種保険も取り扱っています。詳細につきましては互助会HPをご確認ください。

ONGOING SUPPORT 4

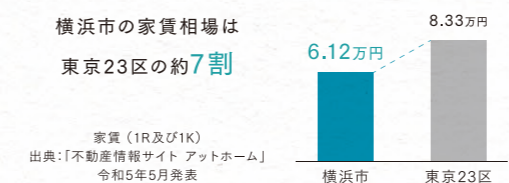
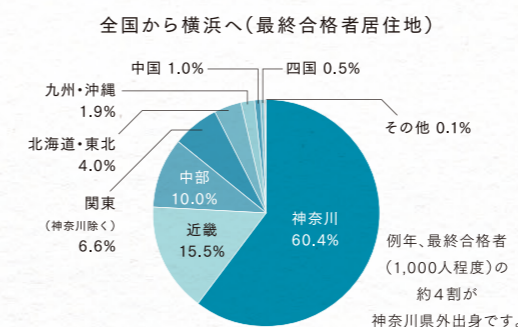
横浜で暮らす



横浜移住サイト

だから横浜で暮らしたい

横浜は、東京23区に比べて家賃がリーズナブル。さらに、都心へのアクセスも良く、交通利便性に優れています。働く場所や通う学校が変わっても、住み替えの必要が少ないのも横浜ならではの魅力です。こちらのサイトでは、あなたに合った居住エリア診断や、エリアごとの家賃相場を簡単に確認できます。



MESSAGES 01

並木中央小学校 佐藤先生



横浜市の魅力は、教育への熱量が高く、質の高い先生方がたくさんいるところだと思います。私は、横浜市に就職し、こうなりたいと思える先生方にたくさん出会ってきました。そして、こんな授業をしたいと思える授業実践をたくさん見てきました。また、横浜市は歴史があり、発展してきた都市であるからこそ社会科学習では、本物に触れて学びを深めることができます。子どもたちの学びの場も充実し、自分の資質・能力を高めるための研修も充実し、教師力を磨くためのサポートも充実している横浜で一緒に働きましょう!

MESSAGES 02

日野南中学校 林田先生



初任の時、右も左もわからない私にたくさんの先生が手を差し伸べてくれました。悩むこともあるかもしれませんが、周りを見れば同じ経験をした先輩方がたくさんいます。力になってくれると思います。タイパ、コスパを重視する世の中で、子どもとぶつかりながら成長を支えていくこの仕事は、選ばれなくなってきたのかもしれませんが、しかし、日々の雑踏の中にささやかな成長を見つけた時、タイパ・コスパを上回る喜びを味わえます。私たちと一緒に横浜の子どもたちの教育に携わってくださる方が1人でも増えたらうれしいです。

MESSAGES 03

ろう特別支援学校 佐藤先生



私自身、受験前は職場環境や職場内の人間関係にとっても不安を感じていましたが、実際に働くと優しい先生ばかりで相談しやすく、横浜市で働いてよかったと強く感じます。多様化する子どもに合わせた対応が求められる今、皆さんの培った知識や経験が必要になる機会も多いかと思っています。一人で悩まず抱え込まず、教員同士で相談し合いながら子どもの成長を見守っていきましょう。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。教員採用試験、がんばってください。

MESSAGES 04

間門小学校 萩原先生



私も6年前に試験を受けました。絶対に養護教諭になりたい!そのためにできる努力はなんでもしよう!と試験勉強に励んだことを思い出します。働いていて迷ったり悩んだりする時も、試験の時の努力を思い出して乗り越えることができている気がします。横浜の教員になり、子どもたちに出会って日々幸せを感じているのはもちろん、そこにたどり着くまでに努力した自分も、今の仕事に活きていると思います。受験生のみなさんの今の頑張りは絶対に未来へ絶対につながります。最後まであきらめずに頑張ってください!